

令和5年度 日南市立榎原小学校 学校運営協議会評価書

総合評価の矢印は、昨年度の評価との比較です。(↘ ↗ →)

【学校経営ビジョン】		小規模校の特性や学校の組織力、教職員一人一人の資質を生かすとともに、家庭や地域との連携強化を推進し、創意・工夫豊かな、地域に根ざした教育活動の充実を図る中で、学校の教育目標の具現化と地域に信頼される学校づくりに努める。 ～「夢・目標を大切にしながら児童一人一人に自立心を育むキャリア教育」の推進～		～「導き、見守り、見届け、褒める教育」の推進～			
4段階評価		4:達成(期待以上) 3:ほぼ達成(ほぼ期待どおり) 2:不十分(やや期待を下回る) 1:改善を要する(期待を下回る)					
評価項目	評価指標	自己評価	成果・課題及び改善策	総合評価	委員評価	学校運営協議会評価コメント(①～④は各評価指標に関するコメント、○は全般に関するコメント)	
確かな学力の定着	① 「授業の目標やねらい」「学習のめあて」「まとめ」の整合性のある授業実践及び習得の時間の充実を図り、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。(確実な振り返り)	児童 3.6	○成果… 職員研修において整合性のある授業実践に全職員で取り組んできた。その中でICTの活用の仕方について研究を進め、タブレットを活用した活動や練習問題等にも児童が意欲的に取り組んできた結果、児童のICTスキルが高まっている。 □課題及び改善策… 学習者として学びに向かう姿勢の育成や学びの深まりを成立させるための授業づくりについて、国や県の方針を踏まえて今後職員の研修を深めていく。	3.3 ↘	3.1	① ICTの活用については今後更に重要になると思います。 ① 児童はタブレット操作に慣れていて、有意義にICTスキルの向上が見られる。 ② 小中学校の連携は榎原小中の強みだと思います。 ② 確かな学力は今後の生徒たちの進路にとってとても大切なことだと思います。先生方の授業の工夫や努力が子供たちを支えていると思いますのでこれからもよろしくお願ひいたします。 ③ スマホ等の普及で活字・読書離れを感じます。児童の方々もできるだけ読書してほしいと思います。 ③ 児童の読書の数値が低く感じられます。読書で多くの情報を得ることは大切だと感じます。ネット等で多くの情報を得る時代になっているので、正確な情報を読書と兼ねて習得することが大事だと思います。 ④ 少人数校の強みが活かされればと思います。 ④ 児童の中にD評価の者がいることが気になります。改善をお願いします。 ④ 小規模の学校だからこそ細かいところまで目の届く支援ができています。早い時期の支援が大切だと感じます。	
		保護者 3.3					
		教師 3.0					
		児童 3.6					
	保護者 3.2						
	教師 2.8						
	児童 3.0						
	保護者 3.4						
	教師 3.0						
	児童 3.5						
	保護者 3.4						
	教師 2.9						
	豊かな心を育む教育の充実	① 指導事項の共通理解と共同実践、家庭との緊密な連携により、基本的な生活習慣の育成に努める。	児童 3.5	○成果… P T A文化学習委員会と連携した基本的な生活習慣のチェックを継続的に行ってきたため、保護者の間でも意識の向上が見られるようになった。 □課題及び改善策… 生活習慣の課題について、SNSやゲーム等による夜更かしなど、原因がはっきりしているものについては、引き続き家庭への啓発やチェックの在り方を改善、実施していく。			3.0 ↘
			保護者 2.9				
			教師 2.8				
			児童 3.1				
保護者 3.0							
教師 3.0							
児童 3.8							
保護者 3.0							
教師 3.1							
児童 3.6							
保護者 3.3							
教師 2.9							
心身の健康及び安全教育の充実	① 体力向上プランに沿った確実な実践に努め、基礎体力や健康意識の向上を目指す。	児童 3.6	○成果… スクールスポーツプランに沿った実践を行い、体育授業や外遊び等の指導に生かした。元気アップチャレンジカードや歯みがきカレンダーを定期的に活用して健康意識の向上を図った。 □課題及び改善策… 猛暑のため夏の熱中症対策が長期に渡り、児童が運動をが思うように行えない中、できる取組を行った。家庭での体力向上の取組も今後検討していく。	3.0 →			
		保護者 2.8					
		教師 3.1					
	② 非常時避難訓練や日常の安全指導の充実を通して、防災・安全意識を高めるとともに、危険予測・回避能力の育成に努める。	児童 3.9	○成果… 風水害、地震・津波、不審者対応、火災の4回の非常時避難訓練とみやざきシェイクアウト訓練を実施することができた。 □課題及び改善策… どのような場面でも、自分の命は自分で守るという意識の基、適切な危機対応ができるように指導を行っていききたい。通学路の危険箇所については引き続き要望していきたい。	3.5 ↘			
		保護者 3.6					
		教師 3.1					
	③ 給食指導や食に関する指導の充実及び学年の発達段階に応じた「弁当の日」の実践により、食育の充実を図る。	児童 3.6	○成果… 給食中、養護教諭による献立に関するスピーチをほぼ毎日放送することができた。また、弁当の日の取組や栄養教諭による栄養指導など、食育指導を継続的に手厚く行うことができた。 □課題及び改善策…肥満傾向、やせ傾向の児童がいる。継続指導していく。	3.4 →			
		保護者 3.4					
		教師 3.1					
地域とつながる学校づくり及び自立性・社会性の育成	① 地域学校協働本部事業の推進を図り、キャリア教育及び地域と連携した教育活動を充実させる。自ら学ぶ意欲や学び方の育成を図り、新時代を生き抜く「4つの学ぶ力」を育てる日南教育を推進する。	児童 3.9	○成果… コロナウイルス感染症5類移行に伴い、数年ぶりに地域学校協働本部や地域と連携した教育活動を従来どおりに実施できた。 □課題及び改善策… 数年ぶりの活動再開において、地域人材の高齢化が進んでいた。計画の見直しや人材の開拓が必要である。	3.5 →			
		保護者 3.3					
		教師 3.3					
	② 地域のひととの交流学習を計画的に進め、地域のよさを感じ取らせ、郷土榎原を愛する児童の育成を図る。	児童 3.4	○成果… 意識調査の結果、地域をよくするために何かしたいと思っている児童は100%であった。地域の方々との交流学習等を通じて郷土愛がしっかり育まれている。 □課題及び改善策… 活動あって学び無し、とならないよう何を学ぶのか、何ができるようになったのかを常に意識した授業や行事をこれからも展開していく。	3.2 ↘			
		保護者 3.2					
		教師 3.0					